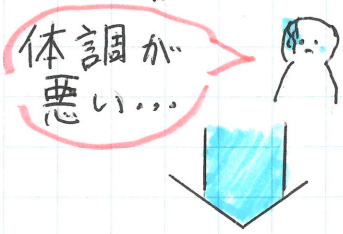
医療新聞

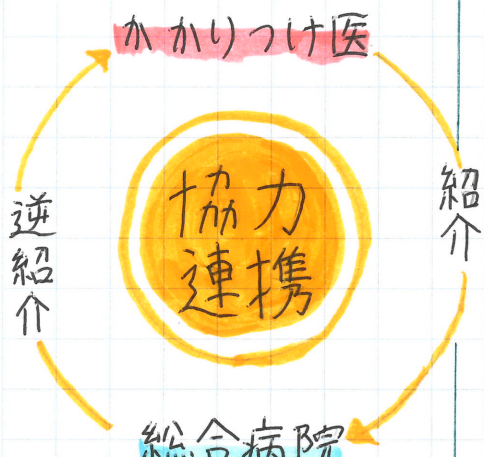
発行者
名前 大倉 彩夢
秋月 中学校 二年 一組

医療についてあまり知られていないこと

皆さんは総合病院を受診した際、症状の割に値段が高くなってしまったことはありませんか。その理由は、総合病院とかかりつけ医の役割の違いがあるからです。そもそも総合病院はかかりつけ医（クリニックや診療所など）で受診して、紹介されて行ったり、他の場所が開いていない夜の間に緊急で行ったりするところです。なので夜には緊急の患者さんがたくさんいます。軽症の時に行ってしまうと緊急の患者さんが診察できなかったりお医者さんが大変になったり、それに自分も色んな設備が整っているため、お金がかかってしまうので軽症の場合は自宅で適切な処置をした方が良いそうです。

（かかりつけ医と総合病院との協力連携）





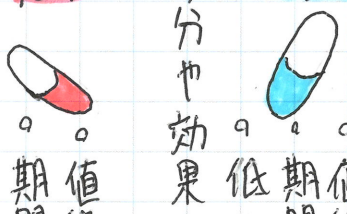
先発医薬品とジェネリック医薬品の違い

皆さんが処方してもらっている薬には先発医薬品（新薬）、ジェネリック医薬品があります。先発医薬品とジェネリック医薬品はどちらも効果や成分は同じですがジェネリック医薬品は先発医薬品より開発期間が短かったり値段が安かったりします。味にも違いがあり先発医薬品は苦く、ジェネリック医薬品はフルーツ味などになっています。ジェネリックはサイズも小さくなっています。

例

先発医薬品
研究開発等 → 発売 → 特許期間
1900〜1915年 10年〜15年
1915〜1940年 20年〜25年

ジェネリック
研究開発等 → 発売
1940〜1945年 3年〜5年



編集後記

自分は最初病院は大きいとこに行けば良いとか思っていたけど、皆良いことばかないし薬も全部同じものだと思っていた。これで色んなことを知れて良かった。